

令和3年度 <教職員向け自己評価表のまとめ>

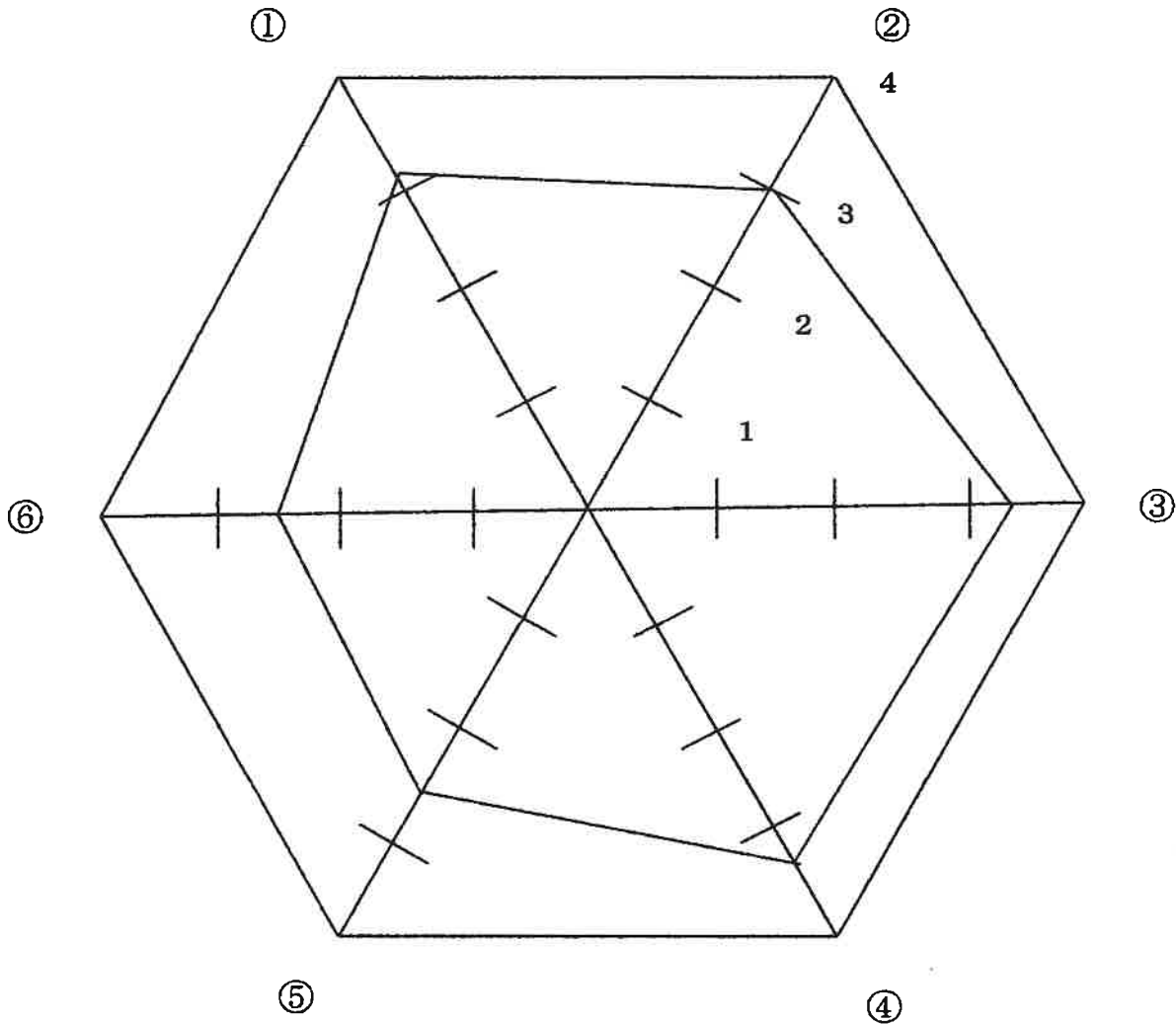
長期定年・定年給付退職 職(担任・副担任・補助・給食・事務・バス) 年齢別担当(0・1・2・3・4・5)

(評価例) 4…よくできている 3…まあまあできている 2…あまりできていない 1…全くできていない

評価項目	内 容	評 価	課題と今後の解決策		
① 保育の計画性	園の理念・教育目標・教育課程	●園の理念の理解や理念、教育目標を理解している	3	・園の理念を改めて理解する為、園長を主とし職員で話し合う事が必要である。	
		●教育目標を職員、園理念の理解とあわせて園長や保育者と話し合う	2.5		
		●指導計画は、教育目標・教育課程そして幼児の実態に照して作成し、園内の状況や変化に対応できるものとしている	3.2		
	環境構成	●指導計画に基づいた安全で安心感、清潔感のある環境を構成する	3.5		・戸外(自然)という環境を保育に取り入れたい。 ・安全かつ、子ども達が楽しめる環境作りに向けていた。 ・活動を通して何を学ばせたいかをしっかり取り、自然、素材等を検討し環境を整え保育活動の運営にあたる。
		●幼児が主体的にかかわりたくなるような素材や道具に配慮し、必要な数量を用意する。	3.4		
		●幼児の発達を見直し、より豊かな活動が展開できるよう環境を再構成する	3.3		
		●園内外の自然への理解や、季節の変化に応じた環境の構成をする	3.3		
評価・反省	●自己の保育についての評価・反省をさまざまな視点から行う	2.8	・ふりかえる事は難しい、しかしやらなければいけない重要課題である。また保育の反省を全体で話し合う場が必要である		
	●自分の保育を評価・反省することで、園全体の保育に活かしている	2.6			
② 保育のあり方 幼児の対応	健康・安全	●日頃から園内の危険箇所に対応する	3.4	・視察を大切にし、子どもの命を守る為に仲間との連携の必要を感じる。 事故・怪達の時の状況把握をしっかりとしておく	
		●毎日の園児の健康視察を大切にす	3.6		
		●事故・怪達が発生した場合は迅速に適切な処置を行う	3.3		
	幼児理解	●幼児一人ひとりをよく観察し、幼児の思いを受け止める	3.4		・子どもの発達をしっかりと観察すると共に子どもの声をよくきく。 ・適切な援助につながらない様にする(個々の子どもの成長を認める事が大切)
		●幼児同士のかかわりの姿から、個々の成長発達をふまえ、見逃しをもって理解する	3.2		
指 導	●幼児の思いや考えに共感し、受け入れる	3.5	・子どもの成長理解も大切であるが、心の理解も大切にしていかなければならない。		
	●発達意欲・道徳性を培ううえで、モデルとなるよう心がける	3.2			
	●幼児の年齢・発達に応じた指導や援助をする	3.3			
③ 保育者の資質・能力 協 働	委 員 能 力 協 働 組 織	●ふさわしい清潔感のある服装、髪型、身だしなみを心がける	3.6	・知識、教養を身につける他に、職員どうし物事を共有し、喜びを分かち合える職員間作りをしななければいけない。	
		●職歴上の情報等の協力を守秘する	3.9		
		●社会人の常識をわかまえ、行動する	3.6		
		●教職員組織の協働性を大切にし、チームとしての自覚をもつ	3.4		
		●率直な意見交換を行い、組織内の問題の共有化に努める	3.1		
		●当番や夜間勤務など、課せられた仕事は確実に行う	3.4		
		●保育者としての感性・教養を深める	2.9		
④ 保護者への対応	対 話 交 渉 クレーン対応	●保護者に幼児の様子を的確に伝える	3.2	・日々の子どもの姿をしっかりと把握し、園としての方針をしっかりと持ち、平等な思いで保護者と対応する。 ・おおきな問題に限らず、全職員で共有し、話し合い考えていく事が大切である。(一人で判断しない。)	
		●保護者からの相談や要望をよく聞き心に心がける	3.3		
		●保護者との対応には公正さを信条とし、保育時間外でも誇りと自覚をもった言動・行動を心がける	3.3		
		●電話での対応は、わかりやすく丁寧な対応に努める	3.2		
		●保護者からの訴で、自分で判断出来ない場合は、園長主任等に報告、連絡、相談をする	3.6		
		●クレームの内容によっては教職員組織全体で共有化し、共通理解のうえで対応する	3.6		
⑤ 地域・自然 社会との かかわり	地域・自然 人とのかかわり 小学校との 連携 子育て支援 地域への開放	●地域の自然や施設、行事等について理解し、利用する	2.8	・自然、地域との関わりは、マイナスをプラスに変える計画、配慮が必要である。 ・交流がもてないなら(こらな編の高)学校への興味づけの為の保育活動に変えたら良い。 ・担当教師のみでなく、全職員で聞かれる様な工夫をしたら良い。	
		●地域の人々とおいさつや食糧を交換し、親睦に心がける	3.1		
		●小学校の教育内容について理解するよう努める	1.7		
		●地域の小学校行事や公開授業等に心をこめ	2.3		
		●子育て支援や地域開放について、内容を理解する	2.6		
⑥ 研修と 研究	研修・研究への 意欲・態度	●研修会や研究会には自己課題をもって積極的に参加する	2.8	・自分の保育を振り返る、反省する、研修する。ここまででは出来ているが、その後の活用、職員間での共有する事が出来ていない、その為に自己課題をもつ事、目標を決める事が出来ていないと思う。先までのアプローチが課題である。 ・数少ない研修を受けても全員で周知したりする事に欠けた事が反省としてあげられる。園内で研修報告のあり方を再検討しなければならない事が課題である。 ・子ども一人一人の成長を見守る中(園生活)から問題提起出来る物を話し合うことも職員の学びにつながるのではないかと思う。(研修会だけが勉強の場ではない)	
		●自分の保育について自己課題をもって研究を行う	2.4		
		●自分の保育のあり方や悩みについて、他の保育者や主任、園長に相談する	3		
	保育者としての 専門性に関する 研修・研究	●幼児の発達に必要な知識を学び、現場に生かす研修・研究を行う	2.6		
		●記録の取り方、考察の仕方に関する研修・研究を行う	2.3		
		●教育課程や指導計画の理解と作成に関する研修・研究を行う	2.3		
		●実践に基づいた評価方法と計画に関する研修・研究を行う	2.3		
		●幼児の発達を見直した環境構成や教材に関する研修・研究を行う	2.8		
		●保護者への対応に関する研修・研究を行う	2.5		
		●地域社会との交流に関する研修・研究を行う	2		
	●組織内の協力・連携に関する研修・研究を行う	2.2			
今日的課題に 関する 研修・研究	●アレルギー、成長の遅れ、問題のある幼児について観察する	3.4	・預かりも大切な保育活動と考え、内容の充実を計りたい。 ・気になる子に対しての職員間の周知だけにとどまらず、その後の経過、結果についての確認がとれていない		
	●預かり保育や子育て支援について研修する	2.3			
	●幼小連携の必要性や具体的方策について研修する	2.1			
	●子どもたちの安心・安全に関する、危機管理の必要性と対応について研修する	2.6			
●社会情勢について関心をもち、研修する	2.6				

令和3年度 《自己評価項目のまとめ》

認定こども園 長岡天使聖母幼稚園



※平均点を出して、六角形を作って下さい。

・職員どうし話し合いを多く持ち、子ども達にいていねいなかかわりを持つ事で、子ども、職員の全てが心身ともに健やかに楽しく過ごせる様な環境作りに心がけ、楽しく安全な園生活を作っていきたい。